

ロンドン、2019年2月19日

## 台湾の CSC 向けスラブ連続鑄造機のアップグレードが完了、稼働が開始

- 鑄型および関連設備を完全に近代化
- 柔軟なサイズ変更、製品の品質向上、ブレイクアウトの最少化を実現する技術パッケージ
- 新規導入の技術パッケージは初めから自動モードで作動を開始

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、2018年12月、台湾の鉄鋼メーカーである中国鋼鉄股份有限公司 (China Steel Corporation: CSC) の高雄製鉄所にあるスラブ連続鑄造機6号機のアップグレードを完了し、同機は稼働を開始しました。本プロジェクトでは、鑄型の近代化と実績ある技術パッケージの導入を行い、旧式設備や余剰設備を置き換えました。今回のアップグレードは、柔軟なサイズ変更、製品の品質向上、ブレイクアウト (湯もれ) の最少化の実現を目的としたもので、将来的に拡張機能を追加する可能性も視野に入れていきます。新たに導入された技術パッケージは、初めから自動モードで作動を開始しました。

台湾最大の鉄鋼メーカーである CSC は、年間約1000万トンの生産能力を有し、そのうち約3分の2を台湾国内向け、残りの3分の1を海外向けに出荷しています。同社の高雄製鉄所にある2棟のBOF転炉工場には、7基の2ストランド式スラブ鑄造機と、3基の4ストランド式ブルーム鑄造機が設置されており、スラブ鑄造機は、主に炭素鋼と低合金鋼の生産に用いられています。

今回アップグレードされた2ストランド式スラブ連続鑄造機の6号機は、1996年に最初に稼働を開始した当初はストレート形状のツインキャスト型を装備していました。同機の湾曲半径は約9メートル、凝固完了長さは約44.7メートルで、厚さ250ミリメートル、幅750~1,880ミリメートルのスラブを生産できます。鑄造される鋼種は、低炭素鋼、極低炭素鋼、中・高炭素鋼、包晶鋼、非調質鋼、高ケイ素鋼です。

今回のアップグレードで、当社は同機に新しく3つの技術パッケージを装備しました。1つ目は鑄造中および鑄造の間に正確にスラブ幅の変更が可能な油圧式幅調節機構「ダイナウィデウス

(DynaWidth)」、2つ目はブレークアウト（湯もれ）を最小限に抑えるブレークアウト防止・鑄型監視システムの「モールドエキスパート (Mold Expert)」、3つ目は、鑄造品の表面品質を最大限に高められるよう鑄造中でもオシレータの完全かつ柔軟な制御が可能な、新しいフレームタイプの油圧式モールドオシレータ機構「ダイナフレックス (DynaFlex)」です。当社は設計と納入を担当し、建設および試運転におけるの顧問サービスも提供しました。新たな鑄型部品と新フレームタイプのダイナフレックスのオシレータは、CSCの子会社である中鋼機械 (China Steel Machinery Corporation: CSMC) が台湾で製造しました。



プライメタルズテクノロジーズがアップグレードを担当した、台湾の鉄鋼メーカー CSC の高雄製鉄所にあるスラブ連続鑄造機 6 号機。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 [www.primetals.com/press/](http://www.primetals.com/press/)

## 報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）  
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内  
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: [twitter.com/primetals](https://twitter.com/primetals)

**プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)**は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: [www.primetals.com](http://www.primetals.com)